



# ナシ牛守報

平成 29 年 9 月 1 日  
JA 中野市営農センター  
JA 中野市ナシ部会  
No. 10

今回の薬剤散布は主力品種（南水・ラフランス等）の最終防除です。成熟前の病害虫総合防除のため、園の隅々までかかるようにしてください。

## ◆ 和梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

### 【有袋・無袋】9月中旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	9月 10 日～15 日	◆ 敷布日：9月 日
散布薬剤	水 100 リットル 展着剤 20 ml キノンドーフロアブル 100 ml（3日前、9回） ダントツ水溶剤 50 g（前日、3回）	◆ 敷布量： リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、コナカイガラムシ類	
散布量	10 アール当たり：450 リットル以上散布	
注意事項	<p>① 南水・あきづきの最終防除。 ② 有袋栽培：果実袋の破袋後に散布する。よって、今回の薬剤散布前に破袋作業を実施する。 ③ 無袋栽培：果面汚れが心配される場合は、キノンドーフロアブルに代えてストロビーDF2,000 倍（前日、3回）を使用してもよい。 ④ ダントツ水溶剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍（前日、3回）でもよい。</p>	

### ～ 和梨重点栽培管・南水の収穫について ～

#### ◆ 無袋栽培の防鳥・防蛾対策

- ① 鳥害が発生しています。芳香の強い南水は鳥害を受けやすいので注意してください。
- ② 防鳥ネットの点検。（破損箇所がないようにしましょう。）

#### ◆ 日焼け果（石梨）の除去は収穫前に！

無袋の上向き果を中心で日焼け果が発生しています。この日焼け果を放置しておくと、収穫時には果面が浅黒く、果肉が硬い果実（石梨）になります。この石梨は食味が悪いため、正品及び袋詰め規格にも入りません。収穫前に除去してください。

#### ◆ 南水の適期収穫について \*9月残暑により成熟が一気に進む可能性があります！過熟発生にご注意ください。

- ① 満開後 145 日前後、南水用カラーチャート値 2.3 の果実を中心に収穫できるようにする。

果皮色は、ていあ部（尻）からこうあ部（軸）に向かって進む。よって、カラーチャートの比色部位は果実の赤道面のやや下側の陰光面とする

【カラーチャート指数 2.3】…緑色が抜け始め、ていあ部から赤道部にかけて褐色部が 30% 位

- ② 収穫開始予想：南部地区 9月 15 日頃～、北部地区 9月 20 日頃～ \*樹勢や土質によっても前後します。
- ③ 収穫直前の高温により成熟が早まる傾向にあります。外観や食味等総合的に判断して収穫作業に入りましょう。
- ④ 中長期的な販売が可能な果実品質の収穫を徹底する。果面が赤茶色状まで進んだ果実は、即売向きと判断し、別コンテナでの集荷を予定しています。

◆ 西洋梨の薬剤散布（9月）は次頁をご覧ください。

## ◆ 西洋梨の定期防除 (収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。)

### 【有袋】9月中旬の薬剤散布 (前回より20日後)

散布時期	9月5日～10日	◆ 敷布日：9月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10mℓ キノンドーフロアブル 100mℓ (3日前、9回) ダントツ水溶剤 25g (前日、3回)	◆ 敷布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、ケムシ類、コナカイガラムシ類	
散布量	10アール当たり：600リットル以上	
注意事項	① ラ・フランス等の最終防除。 ② ダントツ水溶剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤2,000倍（前日、3回）でもよい。	

### 【無袋】9月上旬の防除 (前回から10日後)

散布時期	9月10日前後	◆ 敷布日：9月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10mℓ キノンドーフロアブル 100mℓ (3日前、9回) ダントツ水溶剤 50g (前日、3回)	◆ 敷布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、ケムシ類、コナカイガラムシ類	
散布量	10アール当たり：600ℓ	
注意事項	① バラード等の最終防除。 ② ダントツ水溶剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤2,000倍（前日、3回）でもよい。	

### 【無袋】9月中下旬の防除 (前回から10日後)

散布時期	9月20日前後	◆ 敷布日：9月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10mℓ キノンドーフロアブル 100mℓ (3日前、9回)	◆ 敷布量： リットル
対象病害虫	輪紋病	
散布量	10アール当たり：600ℓ	
注意事項	① ラフランス等の品種の最終防除	

#### 【共通事項】

- ① キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてからSS等のタンクへ投入すること。
  - ② 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また降雨が心配される場合は散布を見合わせる。
- 葉やけの起きやすい条件：①薬剤散布直後の降雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等。